

# 2020年度(令和2年度) 福祉教育 取り組み報告

逗子市立沼間小学校

## 1. 沼間小のねらい

人とふれあうことを通して、自他を大切に「思いやりのある子」を育てる。

## 2. 取り組み方法

1. 2年は生活科の学習の中で、3～6年は総合的な学習の時間を中心に行う。

## 3. 学年のねらい

低)地域とのふれあいを通して、思いやりのある子を育てる。

中)色々な立場の人がいることを知り、福祉を身近に感じる心を育てる。

高)地域とのふれ合いを通して福祉に対する理解を深め、自分たちにできることを考えようとする心を育てる。

## 4. 今年度の主な取り組み

学年	月	テーマ	内容	協力者	気づいたこと
1	4～9	・秋をさがそう	・学年で桜山中央公園へ行き、遊んだり、木の実集めをしたりした。	6年生  園の先生	・学年のお友だちと楽しく交流ができた。
	10	・秋のおみせやさん	・6年生を招待して、秋のお店やゲームなどでふれあった。		・思いやりの心で接することができた。
		おてがみをかこう	・卒園した園の先生にお手紙を書いた		・小学校に入学してからのことを振り返ることができた。
2	6	・町たんけん	・方面別や一斉で、地域の様子を調べた。		・地域の様子を知ることができた。
	9～11	・つくってためして ・秋まつりをしよう	・自分たちが作ったおもちゃを一年生に紹介して、遊び方を教えて遊んだ。		・1年生と楽しく交流ができた。年下の子に優しく教えることができた。
3	未実施				

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           テーマ：～㊦だんの・㊧らしの・㊨あわせ～         </div>					
4	7～9	○防災について考えよう	・防災・安全などについて調べる。 ・学校の防災設備	・	・調べ学習を通して、防災について考えることができた。
	10～2	○福祉について考えよう	・社会福祉協議会の講話	・社会福祉協議会 ・飯村さん ・松本さん ・辰村さん	・「みんな楽しく。人も自分もしあわせになろう。」に向かって学習を進めた。 ・人とよりよく関わりあうことについて考えを深めることができた。
5	・今年度は、コロナ感染予防のため、田植えは行えなかった。				
6	12	・被爆体験を聞く	・DVD やインターネットを通して、被爆体験を聞いた。	・つばきの会	・被爆体験を聞き、原爆投下後の状況や当時の人々の気持ちを知らることができた。

\* 1～6年…通年で、保護者ボランティアによる「読み聞かせ」を行っている。

\* 児童会活動…縦割りグループ活動・全校集会(ウォークラリー)・緑の羽根募金、ユニセフ募金(2020年度は「縦割りグループ活動」及び「全校集会(ウォークラリー)」のみ実施)

## 5. 成果と課題

(2年)地域の探検をして、お気に入りの場所を見つけることができた。その場所に再度訪れ、インタビューをすることで、良さや素敵などところを見つけることができ、発表・交流を通して地域について詳しくなることができた。3年生の学習に接続させていきたい。

(4年)防災と福祉ともに、国語科の学習や人権教育と関連させながら学習を進めた。他者理解を通して、人とよりよく関わりあうことについて考えを深めることができた。

(6年)音楽などの活動を通して、地域との活動で福祉に対する理解が深まった。平和学習では、自分たちにできることを考えることができた。